

第5回野生動物保全繁殖研究会大会 研究発表題目一覧（最終版）

氏名は筆頭発表者名のみを記載しています。記載事項に間違いや漏れがありましたらご連絡ください。以下の発表題目の順は、発表順ではありません。後日プログラムをお知らせします。

1. 研究発表：口頭発表（13題）

発表者	所属	発表題目（仮題）
伊藤香緒里 小川美紀	多摩動物公園 恩賜上野動物園	栄養改善から繁殖に至るまで～ミナミコアリクイでの取り組み
金原弘武	岐阜大学大学院連合農 学研究科	ハシビロコウの飼育下繁殖にむけた糞中の性ステロイドホルモン動態による繁殖生理状態の把握
伊東明洋	瑞穂ハンザケ自然館	LED照明を用いた屋内水槽でのオオサンショウウオ繁殖について（2019～2021年）
小林夏子	横浜市繁殖センター	オカピにおける糞中の性ステロイドホルモン動態を指標とした長期モニタリングによる繁殖生理の解明
吉田智紀	岐阜大学大学院連合農 学研究科	飼育下の雌キリンにおける糞中プロジェステロンの簡易測定に向けた抽出法の検討
田中紘子	仙台市八木山動物公園	フタコブラクダにおける採精及び人工授精の取り組みについて
高柳真世	多摩動物公園野生生物 保全センター	雌個体からの隔離期間における雄アジアゾウの繁殖生理状態の変化
鈴木菜緒	岐阜大学大学院自然科 学技術研究科	飼育下ツシマヤマメコにおける糞中プロジェステロンおよび13,14-dihydro-15-keto-PGF _{2α} 濃度測定による排卵確認・妊娠判定と動物園での排卵・妊娠率
楠田哲士	岐阜大学応用生物科学 部	動物園水族館繁殖研究アライアンスの紹介と活動報告（2021年度）
平佐田彩乃	岡山理科大学獣医学部	愛媛県立とベ動物園における雌マレーグマの糞プロジェステロン代謝物濃度測定および発情周期の把握
小川由華	天王寺動物園	交尾後妊娠に至らない雌雄マレーグマにおける繁殖機能の調査とその改善の取り組み
北濱健太	東武動物公園	アムールヒョウにおける行動学的保定下用手採精の成功例
小澤賢一	東武動物公園	アムールヒョウの行動学的保定下用手採精による精液性状の基礎研究

2. 研究発表：ポスター発表（7題）

発表代表者	所属	発表題目（仮題）
尾形光昭	横浜市繁殖センター	日本動物園水族館協会の配偶子バンク等事業における横浜市繁殖センターの配偶子回収実績（2019～2021年度）

高柳真世	多摩動物公園 野生生物保全センター	チンパンジー凍結精液の保存を重ねる取り組み
安齋政幸	近畿大学先端技術総合研究所	精管灌流操作によるアカカンガルー精子の形態学的観察
永山千晶	岐阜大学大学院自然科学技術研究科	飼育下スマトラトラの雌雄 2 ペアにおける性行動パターンの比較
岡本真実	岐阜大学大学院自然科学技術研究科	飼育下チーターの発情指標となるより良い糞中の性ステロイドホルモン代謝物の再検討
鈴木菜緒	岐阜大学大学院自然科学技術研究科	飼育下ツシマヤマネコにおける糞中の性ステロイドホルモン動態と行動から見た発情指標の検討
小野ゆきな	岐阜大学大学院自然科学技術研究科	飼育下雄ニホンライチョウにおける糞中の性ステロイドホルモン動態と精巣機能の関連性

(問い合わせ先)

野生動物保全繁殖研究会 研究調整担当 E-mail abstracts@arrwc.org

楠田哲士 (岐阜大学応用生物科学部)

尾形光昭 (横浜市繁殖センター)

笹野聡美 (往診動物病院 Fauna Vet's)